



O's News

8

2026

「めまい」に潜む危険なサイン

～重心動揺検査(STM)とMRI検査のすすめ～ 脳神経外科医長 吉村 亘平

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、日常でよく遭遇する「めまい」についてのお話です。

めまいと一口に言っても、景色が回る、フワフワと浮くような感覚、目の前が暗くなるなど、症状は多彩です。原因も耳(三半規管)や血圧の異常から、脳の病気まで様々です。

特に注意が必要なのは、椎骨動脈解離や脳幹・小脳の脳梗塞など、命に関わる病気が原因となっている場合です。最初の症状が軽いめまいだけでも、実は背後に重大な疾患が隠れていることがあります。

当院で施行可能なめまいの検査として、「重心動揺検査(STM)」と「頭部MRI検査」があります。

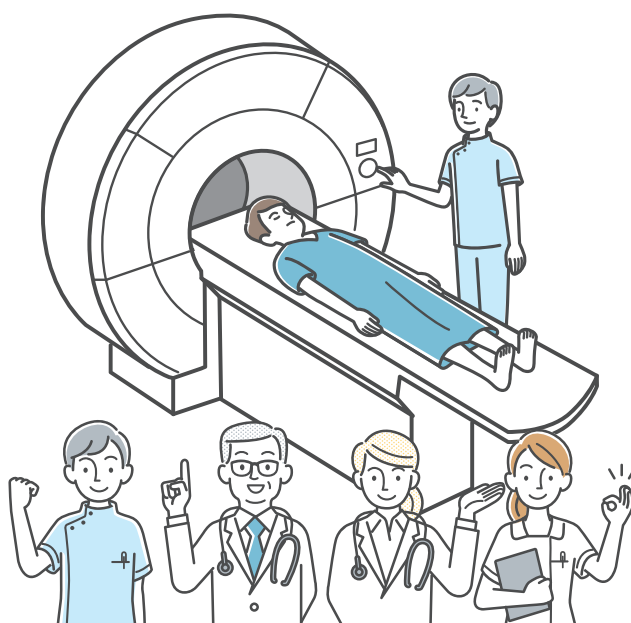
まず、重心動揺検査(STM)は、専用の台の上に立つだけで体の揺れを精密に記録する簡単な検査です。この検査により、めまい自体の性状やバランス感覚の異常を客観的に評価し、的確な診断へとつなげることができます。

さらに、脳の状態を直接確認するMRI検査も欠かせません。実は当院でも、めまいの症状で受診された方にMRI検査を行ったところ、偶然に脳梗塞や脳腫瘍、未破裂の脳動脈瘤が発見

されたケースを数多く経験しています。

STMでめまいの原因や性質を分析し、MRI検査で脳内に危険な病気が潜んでいないかを徹底的に調べる。この2つの検査を組み合わせることで、重大な疾患の早期発見が可能になります。

「いつものめまいだから」と放置するのは危険です。時々めまいがする、あるいは経験したことのないめまい感がある時は、決して様子を見ずにお気軽にご相談ください。ご自身の安心と命を守るために、ぜひSTMとMRI検査の受診をご検討ください。



未来の安心のために、脳ドックを受けてみませんか？

外来 秘書課 梶 めぐみ

みなさん、当院で脳ドックを受診できることはご存知でしょうか？

当院では、脳卒中や脳動脈瘤などの脳の病気を早期発見・早期治療に繋げることを目的とした「脳ドック」「脳検診」を実施しております。

脳の病気は自覚症状がなく気付かないまま進行することがあり、突然発症すると、日常生活に大きな影響を及ぼす場合があります。「脳ドック」「脳検診」では、MRI・MRA検査を用いて脳の状態や血管の異常の有無を詳しく調べることができます。

特に、次のような方におすすめです。

- ☑ 40歳以上の方でまだ一度も脳ドックを受けたことがない方
- ☑ 頭痛やめまいが気になる方
- ☑ 高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病がある方
- ☑ 一度も脳の検査を受けたことがない方
- ☑ 喫煙習慣のある方
- ☑ 物忘れが気になり始めた方
- ☑ ご家族に脳卒中や脳動脈瘤の既往がある方

症状がない方でも、将来の脳卒中リスクの確認や健康管理の一環として受けていただけます。また、各種オプション検査もご用意しております。

検査内容や検査の流れなどの詳しい情報は当院ホームページに紹介しております。

また当院は脳ドック学会の認定施設で、脳神経外科専門医が説明させていただきます。

ぜひこの機会にご自身やご家族の安心につながる脳ドックをご活用ください。



ホームページ委員会の活動について

I Tシステム課 副主任 解 和(ときかのう)

当院では、患者さんやご家族・医療関係者の方々に「正しく、分かりやすく、役立つ情報」をお届けするため、ホームページ委員会を設置しています。

看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・管理栄養士・事務職などの多職種で構成されるこの委員会では、単なる情報の更新だけでなく、以下の取り組みを大切にしています。

情報の正確性

医療技術の発展や制度の変更に合わせ、常に最新の情報を掲載出来るように努めています。

利便性の向上

初めて診療を受けられる方へのご案内や外来担当表など、必要な情報へすぐに辿り着けるような構成を心がけています。

また、「診療費の後払いシステム」など、診察後の会計を待たずに帰宅できる仕組み作りなども、導入後にホームページ内では積極的に発信しています。

安心の発信

院内の様子や設備、疾患に関する解説記事(脳の健康コラム)作りなど、受診への不安を和らげるコンテンツ作りに努めています。

皆さまにとって「身近で信頼される情報の窓口」となれるよう、今後も内容の充実に努めてまいります。

お気づきの点などございましたら、お気軽にお声がけください。



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

はづき
8月(葉月)青い空に入道雲、夏の日ざしが照りつけます。
お盆を過ぎる頃から少しずつ秋の風がー。十二節気
大暑

8/2～6(第三十六候) 大雨時行／たいうときどきふる

「夏」の最後の候、突然の夕立や台風がやってくる頃。台風という言葉は、英語の「typhoon」の訳からー。明治以降に使われるようになり、それ以前は「野分(のわけ、のわき)」と呼ばれていました。百日紅(さるすべり)の美しい紅の花。真夏に長い期間咲き続けます。

十三節気
立秋

8/7～12(第三十七候) 涼風至／すずかぜいたる

暑い毎日ですが、立秋を迎え、朝晩の風に少しずつ秋の気配が。大きな殻の「岩牡蠣」夏が旬で「夏牡蠣」とも呼ばれ、鉄分やタウリンを豊富に含み、夏バテを吹き飛ばすスタミナ源にぴったり♪



秋桜の美しい季節。トンボが飛び、空も少しずつ秋空へ。



8/13～17(第三十八候) 寒蟬鳴／ひぐらしなく

「盆踊り」は、お盆に帰ってきたご先祖様の霊を迎え送る為のならわし。庶民の娯楽と地域の祭礼として全国で広まった民俗芸能です。櫓を中心に輪になってご先祖様と老若男女が踊る夏の夜を楽しみましょう。



8/18～22(第三十九候) 蒙霧升降／ふかききりまとう

残暑が厳しい中、森林や水辺に霧が立ち込める頃。熟す前の大豆を収穫する「枝豆」。枝付きのまま茹でて食べたことから、その名とおり「枝豆」に。アルコールから肝臓を守る、サポニンやメチオニンが含まれる為、「ビールにエダマメ」は理にかなったベストコンビ♪

十四節気
処暑

8/23～27(第四十候) 綿柎開／わたのはなしべひらく

処暑の頃は夏至の頃にくらべると、40分も日の入りは早くなり、日の短かさを実感。富士山の噴火が案じられる昨今…。毎年8月26～27日に本宮富士浅間神社の祭礼「吉田の火祭り」。80本ほどの大松明は「日本三大奇祭」にも数えられ、富士山の「山じまい」を告げます。



様々な暑さ対策のグッズも開発されていますね。上手に取り入れ乗り切りましょう。

8/28～9/1(第四十一候) 天地始肅／てんちはじめてさむし

暑さもようやく勢いが落ち着く時期。8月の最終日「八月尽」。かつて月の最終日を「尽日(じんじつ)」と呼びました。「夏が終わってゆく」という感慨が大きい8月に生まれた季語です。残暑は続きますが、今年の夏もひと区切りー。



その1

アイスクリームのお話

冷たいアイスクリーム♪ひんやり甘いその味は、夏はもちろん、一年中私達を幸せな気分になさせてくれます。アイスクリームの歴史は古代ローマまでさかのぼり、体を元気にしてくれる「健康食品」として利用。次第に貴族や裕福な人の嗜好品として愛されてきました。あのジュリアス・シーザーも、若者をアペニン山脈へ走らせ、氷や雪を運ばせ、乳や蜜、ワインなどとまぜて飲んでいたそうです。

「東方見聞録」を記したマルコポーロ。北京で「ミルクアイス」を味わい、製法をヨーロッパへ持ち帰り、ベネチアからイタリア全土へ広がったという歴史がー。



外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高 橋〈顔〉	大 西(宏)	久 我	茶 谷	前 岡
	午後	高 橋〈血〉	大 西(宏)〈血〉	久 我	茶 谷	前 岡
2診 【予約制】	午前	祖父江	岡 本	—	富士井	山 本(健)
	午後	前 岡	岡 本	—	吉 村	山 本(健)
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐 藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐 藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	吉 村	担当医〈血〉／麻酔科 鈴木
	午後	脊髄外来山 本(慎)	脊髄外来山 本(慎)	脊髄外来山 本(慎)	平 林	脊髄外来山 本(慎)
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 石 田	—	脳神経内科 赤 谷	てんかん 第4週 田 村	脳神経内科 第1・3週 阿 部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 石 田	—	—	てんかん 第4週 田 村	脳神経内科 第1・3週 阿 部 第2・4・5週 小坂田〈FUS〉

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30 ※毎週金曜日9:20～ 6診 麻酔科 鈴木 (2026.8)
※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.292

なしの木クリニック

院長：小池 祐三

【認定資格・所属学会】日本内科学会、日本血液学会、日本感染症学会、日本リウマチ学会

【診療科目】内科・訪問診療

【住 所】神戸市西区王塚台6丁目53 201号

【電 話】078-965-7674

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	/	/
13:00～17:00	○	○	/	○	○	/	/

休診日：水曜午後、土曜、日曜、祝日

外来は完全予約制



小池院長からのメッセージ

自宅でご家族と穏やかに過ごしたい、最後は自宅で迎えたいといった希望を訪問診療として支援していきます。

No.293

吉村こどもクリニック

院長：吉村 竜太

【認定資格・所属学会】医学博士、日本小児科学会専門医、同正会員、日本小児アレルギー学会会員、学校医

【診療科目】小児科、アレルギー科

【住 所】明石市大久保町ゆりのき通り1-4-2オーズタウン
メディカルモール3-101号

【電 話】078-936-1122

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00 (受付は11:45まで)	○	○	○	○	○	○	/
15:00～16:00	☆	△	☆	/	□	/	/
16:00～19:00 (受付は18:45まで)	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜・土曜午後、日曜、祝日

☆：予防接種 △：BCG・ロタ □：乳児検診



吉村院長からのメッセージ

私達は、解り易い医療を提供出来る様に心掛けてきました。院長をはじめ、スタッフ全員子どもが本当に大好きですので安心してご来院下さいね。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者：理事長・院長 大西 宏之



ホームページ